



富士吉田ブランド認定 令和5年度

応募申請書

富士吉田ブランド認定事業の規定に基づき、下記の通り申請します。

記入年月日 令和 5 年 月 日

1) 申請事業者

フリガナ	ヨシダワガシテン		
会社名	吉田和菓子店		
フリガナ	フジヨシダシシモヨシダ		
所在地	〒403-0000 富士吉田市下吉田 10-10-10		
フリガナ	ヨシダ フジオ	従業員数	役員 1 名 従業員 1 名
代表者名	吉田 富士雄		パート 名 アルバイト 2 名
TEL	0555-00-0000	FAX	0555-00-0000
URL	https://wagashiyoshida@kashi.com		
業種	食料品製造小売業	直近の売上	1 5 0 0 万円
申請商品名	富士山の洋菓子	申請商品の 売上状況	年間 1 0 0 万円
フリガナ	ヨシダ フジオ		
担当者名	吉田 富士雄	役職・部署	
担当者 TEL	0555-00-0000	担当者 FAX	0555-00-0000
担当者携帯	090-1111-1111		
担当者 MAIL	info@kashi.com		

審査会の詳細・日程は後日、郵送でご案内申し上げます。

※申請時に申請品の写真あるいはパンフレットを添付してください。

※飲食店については、原則、保健所の製造免許のコピーを添付してください。

※申請品の審査会試食商品は、審査会前にご持参ください。

※直近の申告書・決算書を添付してください。



富士吉田ブランド認定 申請内容

2) 申請分野

富士吉田ブランド認定対象は、以下4つの分野となります。該当する分野にチェックを入れてください。

- 農林水産分野 (農業・林業・水産における第一次産業に対して)
- 工芸品・工業製品分野 (工芸的に作られた製品又は、原材料を消費して製造される物品)
- 加工食品分野 (加工品・食品・菓子類等の製造された製品に対して)
- サービス分野 (サービスおよびその提供者・従業者・施設等に対して)

3) 申請概要

申請商品名			
※申請する商品名を記入してください。			
申請概要			
① 申請内容*	※申請する商品の概要を記入してください。		
フリガナ			
② ブランド名称	※申請名と同一で構いません。		
③ メーカー品番	※あれば記入してください。		
④ 同品番製品群 名称・メーカー品番	※あれば記入してください。		
⑤ 販売価格	※税抜きか税込みかも記入してください。		
⑥ 当該申請に関する知財取得状況*該当するものに○をつけてください。			有 ・ 無 ・ 申請中
特許 番号：	実用新案 番号：	意匠登録 番号：	商標登録 番号：
具体的な認可内容：※あれば記入してください。			
⑦ 主な受賞歴 (会社・個人も含む)	※あれば記入してください。		

※*は、全分野記載必須項目。②～⑤は、物品の申請のみ記入。

※④は、類似製品群で同品番に限りサイズやカラー展開等があり複数製品の認定を申請する場合、記入すること。

4) 申請事業者概要

会社・事業の歴史、プロフィール

※創業年数や立地・取扱商品などについて記入してください。

(例)

1992年創業の和菓子中心とした菓子専門店を経営。創業者である私と後継予定者である長男を含め家族で営業してきました。国道沿いにある店舗兼住宅にて営業。団子・どらやきなどの和菓子を中心に、店内にはイートインスペースもあり、あんみつや和風のパフェなどを提供しています。

同業者、業界内での貴社（ブランド）の位置づけ、強み

※同業他社との違いや、より優れていると思う部分を記入します。

(例)

地域で一番の和菓子店を目指し、日々新商品の開発に取り組んだことで、取扱い商品数は地域でも有数の品揃えとなりました。また、地産地消の一環として、地元で生産されている果物を使用した和菓子や、和菓子の材料を使った洋菓子も製造しています。

現在の事業の今後のビジョン

※今後行っていきたい事業活動について記入して下さい。

(例)

今後も地産地消を意識した商品展開や旬を意識した限定商品の製造などを行い、地域に根付いた和菓子店を目指すことで、長く続く会社に成長させていきたいです。

富士吉田ブランド認定の活用の考え方

※富士吉田ブランド認定について記入します。

(例)

富士吉田ブランドに認定されることで、お客様に当社の商品が信頼でき・安全であることを広く知っていただき、販促活動に活用していきたいと考えています。また、商品を通じて地域の魅力の発信に繋がればと思います。

5) その他

現在の事業や当該申請、富士吉田ブランド認定についてアピールしたい点などございましたらご自由にご記入ください。

※これまでの項目に当てはまらないけど、アピールできるポイントなどを記入します。

(例)

当地は観光地でもあり当店にも観光客も多く訪れますので、普段の事業活動や地産地消を意識した商品づくりを通じ、富士吉田市の魅力をPRしていきたいと思っています。

6) 認定基準

富士吉田ブランド認定基準は、以下5つの項目となります。以下に基づき判断致します。アピールしたい点などをご自由にご記入ください。

商品のアピールポイント

①将来性

未来へつながる事業・商材・取り組みである事、新たな手法や技術、地域やお客様への新たな価値地域の未来の為に取り組みであるかどうか。また、継続的・継承的な取り組みやモノやコトなのか。

■継続・継承の取組みについてご記入ください。

※今回の商品が長く販売していけるような取り組みについて記入します。

(例)

今回認定していただきたい商品は、地産されている果物を使用し、伝統的な和菓子の製法で見た目や味を追求し試行錯誤しながら開発しました。それもあってか地元のお土産というイメージを強く打ち出すことに成功しており、お土産のみならず手土産としても好評を博しています。今後も当社の主力商品の1つとして、商品の知名度と魅力向上に努めていきます。

■新たな手法、サービス、技術、ライフスタイル等、地域やお客様に対しての新たな価値の創出についてご記入ください。

※今回の商品における工夫や他の類似商品より優れている製造・販売手法・サービス・技術について記入します。

(例)

伝統的な和菓子作りの手法で製造を行っておりますが、商品の開発については常に最新の技術を勉強し、導入しています。自社の強みを活かした地域の競合店にはない新しい商品を開発することにより、地域を代表するような商品を開発しています。

また、お客様のニーズを把握し、他にはない要望に沿ったオーダーによるお菓子セットの作成、また、その時々のお菓子のブームに合わせて当社でも和菓子の技術や素材を転用し、商品開発を行っていきたいと考えています。

②地域性

富士吉田の歴史や文化、素材が活かされている事

富士吉田の歴史や文化を重んじていることや地域ならではの素材・技術を使用しているか。

■富士吉田が連想される取り組みやエピソード、富士吉田ならではの自然、歴史、風土、文化等に根ざしたストーリーについてご記入ください。

(例)

山梨県はブドウや桃を始めとしたフルーツが有名ですが、富士吉田市ではフルーツはあまり生産されておらず、「富士吉田＝フルーツ」に結び付かないのが現状です。しかし富士山の豊富な伏流水と冷涼な気候や寒暖差の大きい富士吉田市の風土により、美味しい果物を育てる環境は整っております。当社では富士吉田で生産された果物を使用したお菓子作りを行っております。



■富士吉田地域ならではの素材・技術についてご記入ください。

(例)

今回申請する商品は、富士吉田市の風土により育まれた果物と、同じ富士山の伏流水を使用した和菓子となっており、地域の産物と富士山の水の融合により他にはない、素材の段階から一体感が生まれた、和菓子です。

③品質性

形状的・品質的・技術的に優れている事

形状や技術面で優れているか、作法やサービス面でお客様に対し誠実かどうか。

■独創性、形状や技術面で優れている点についてご記入ください。

※他の商品と比較し、今回の商品の形状や技術面で優れている点を記入します。

(例)

基本的に作業はすべて手作業にこだわり、手間がかかり大量には生産できませんが、品質の高さにこだわっています。また、形状を富士山に似せるのはもちろんのこと、季節によって雪化粧の度合いの変更や、農鳥をイメージした模様をつけるなど、他の類似商品との差別化を図っています。パッケージも富士山型の専用のモノを用意しています。

■作法、サービス面等でお客様に対して安全なものを提供しているかご記入ください。

(例)

当社では創業より製造に関する手法を変えることなく、工房で一つ一つ手作りにしています。材料に関しても地産されているものにこだわり、一つ一つの包装と脱酸素剤により衛生面と品質の保持により安全な商品を提供しています。賞味期限を通常よりも短くし、販売の際にも手で直接触ることなくお客様の目の前で包装するなど安心安全を提供しています。

④環境性

環境への配慮がなされている事

自然や地域環境も含めた全ての環境面で配慮しているか。

■環境に配慮された素材やサービス等についてご記入ください。

(例)

販売数量をデータ化し季節や曜日による販売傾向を算出し、賞味期限内に売り切ることを目標に掲げ、食品の廃棄ロスをできる限り出さないよう常に意識した製造管理を行っています。また簡易包装に努めています。

■自然や地域環境を含めた資源の削減等環境に配慮された生産体制やサービス体制についてご記入ください。

(例)

和菓子を包む包装資材に関しては竹や笹などの自然素材で対応できるものはそれ利用し、プラスチ



ック包装を始めとした人工物は必要最低限にとどめています。また、製造過程で出る廃棄物や段ボールなどの資源に関してもリサイクルできるものはリサイクルすることで、環境に配慮した店づくりを行っています。

⑤信頼性

衛生面や法令順守において信頼でき、多くの消費者に愛されている事
安心安全を開示でき、トレーサビリティがきちんとされているか。また、富士吉田の地域に愛されそうか。

■安心安全、トレーサビリティについてご記入ください。

(例)

食品衛生管理者 2 名のうち、製造過程や営業時間内には常に 1 人以上配置し、工場内の清掃・マスクや帽子の着用・手洗いなどの衛生管理を徹底しております。生物も取り扱うので、材料の保管には特に注意し、専門の冷暗貯蔵設備を設けています。店頭には食品の仕入先を明示するなど安心安全の提供に努めています。

■富士吉田市の地域に愛されている、または愛されそうであるかご記入ください。

(例)

商品を発売して以降、多くの地元のお客様にご購入いただき、ご家庭で来客用のお菓子として食べていただいております。また、手土産を持参する際にこのお菓子を選んでいただけることが増えてきています。今後も本商品を販売していくことで地域を代表する和菓子として地域の住民に愛されていくと確信しています。